

■調査目的

平成 29 年(2017 年)6 月 25 日 7 時 2 分頃に長野県南部で発生した地震による建造物の被害状況を把握することを目的とした調査を実施した。調査地域は、震度 5 強を記録した長野県の木曾町、王滝村とした。

■調査概要

- ・調査参加者：信州大学工学部建築学科 松田昌洋
- ・調査範囲：長野県木曾郡木曾町、長野県木曾郡王滝村
- ・調査スケジュール

期間：平成 29 年 6 月 26 日(月)

12:30 長野県木曾合同庁舎訪問、ヒアリング

13:30 木曾町三岳着、調査

15:00 王滝村役場訪問、ヒアリング、役場周辺の調査

■ヒアリング概要

(1) 木曾町合同庁舎

- ・6 月 26 日 8:30 の段階で木曾町 18 棟、王滝村 1 棟、上松町で 3 棟の一部損壊との報告。
- ・木曾町での被害は屋根瓦、土蔵の外壁、窓ガラスなど。
- ・三岳(旧三岳村)の羽入のあたりの被害が大きい。
- ・旧木曾福島町でも被害が見られる。

(2) 王滝村役場

- ・建物被害が別荘地で 1 件(別荘ではなく通常の住宅で、建てられてからだいぶ経っていると思われるとのこと)あり。周辺の地割れ、窓ガラスの外れ、玄関が開かないなど。個人情報に関わるため場所については不明。
- ・公共施設で木造の更衣室が落石で全壊。役場からスキー場へ向かう途中にあるが、道路は現在、通行止め。
- ・その他、天井の被害など軽微なものはあるとのことだったが、役場周辺は屋根瓦の被害もない。



木曾町 調査地域 (Google マップをもとに作成)



王滝村 調査地域 (Google マップをもとに作成)

■調査結果

1 木曾町

1.1 木曾合同庁舎、木曾福島駅周辺

木曾合同庁舎の周辺は外観上無被害であった。また、県道 461 号線を木曾福島駅の北側から南側へ移動した中では、被害はみられなかった。



写真 1.1-1 木曾合同庁舎周辺 無被害



写真 1.1-2 木曾福島駅の北側約 500m に位置する伝統木造建築物 無被害

1.2 三岳小学校周辺

校舎、周辺ともに外観上被害はみられなかった。



写真 1.2-1 三岳小学校 無被害



写真 1.2-2 三岳小学校周辺 無被害

1.3 御嶽神社里宮

外観上被害はみられなかった。



写真 1.3-1 社殿 無被害



写真 1.3-2 社務所 無被害

1.4 三岳羽入

ヒアリングで被害が大きいと聞いていた地域である。瓦屋根の被害が数棟みられたが、それ以外は外観上無被害であった。



写真 1.4-1 棟瓦の被害



写真 1.4-2 写真 1.4-1(中央)の周辺は無被害



写真 1.4-3 瓦屋根の被害(左)、周辺は無被害



写真 1.4-4 瓦屋根の建物 無被害

2 王滝村

2.1 王滝村役場周辺

役場の周辺では外観上無被害であった。役場の西側の小川地区についても、被害はみられなかった。



写真 2.1-1 役場内部の地震計



写真 2.1-2 役場周辺の建物 無被害



写真 2.1-3 役場周辺の建物 無被害



写真 2.1-4 役場周辺の建物 瓦屋根も無被害

以上